Agilent CrossLab
From Insight to Outcome

Agilent CrossLab スタートアップサービス

Agilent OpenLab Server/ECM XT 2.8
ソフトウェア設置準備チェックリスト

アジレント・テクノロジーのソフトウェアをご購入いただき誠にありがとうございます。CrossLab スタートアップは、ご購入いただいた機器システムの性能を迅速かつ最大限にご利用いただけるよう、お客様を支援することに重点を置いています。

機器とソフトウェアを長期にわたって安定的に運用するためには、適切な設置場所の準備が必要です。このチェックリストには、ラボでシステムをセットアップする際に必要なソフトウェア要件がまとめられていますので、**事前準備のガイド、およびチェックリスト**としてご利用ください。

リビジョン：A.02 発行日：2026年5月
文書番号：D0038465ja
© Agilent Technologies, Inc. 2026

___ / ___

Agilent

はじめに

ご注意（必ずお読みください）

- 下記「お客様へのお願い」に不明点などがございましたら、担当の代理店もしくはアジレントにご連絡ください。また、設置場所の準備状況によっては作業日程を変更する場合がありますので、ご了承ください。
- 何らかの事情により設置場所の準備が作業日までに整わない場合は、日程を調整する必要がございますので、速やかに担当の代理店またはアジレントまでご連絡くださいますようお願いいたします。
- 標準操作説明に含まれない説明、運転時適格性評価（OQ）、およびお客様のアプリケーションのコンサルティングなどをご希望される場合は、別途契約が必要となりますので担当営業にご相談ください。

お客様へのお願い

インストールの前日までに、以下の内容についてご確認ください。詳細については、チェックリスト内の各セクションを参照してください。

- **コンピューターの使用環境**と設置スペースの確保
- コンピューターシステムおよび周辺機器に対応する**電源コンセント**が適切な場所に必要な数だけ用意されていること
- お客様の**ソフトウェア、ハードウェア、およびネットワーク**が本書の仕様を満たしていること
- 必要なソフトウェア認証コード、ソフトウェアライセンス、ソフトウェア証明書などがあること
- お客様のシステムに、適切な修正プログラム、Microsoft 更新プログラム、パッチが適用されていることを確認。

  重要：お客様が PC を用意する場合は、インストールを開始する前にお客様にて最新の Windows バージョン および Microsoft 更新プログラムを PC にインストールしておく必要があります。
- インストールに必要な**ソフトウェアインストールパッケージ**が揃っていること
- ソフトウェアに適切な**バックアップソリューション**が準備できていること
- **インストール作業および取り扱い説明の際には、**機器システムのご担当者の立ち合いをお願いしております。ご不在の場合、重要な操作やメンテナンス、安全性に関する情報をお伝えできなくなりますのでご注意ください。

リビジョン：A.02 発行日：2026年5月

文書番号：D0038465ja
© Agilent Technologies, Inc. 2026

- イントラネットに接続する際は、必要に応じて**システム管理者またはネットワーク管理者**が対応できること
- その他、製品固有の情報については、**「その他の重要な要件」**を参照してください。
- 最終確認：System Preparation Tool を実行します。OpenLab ECM XT 2.8 Feature Pack 01 インストールメディアにアクセスし、¥Setup¥Tools¥SPT にある SystemPreparationTool.exe を実行して最終確認を完了します。

  System Preparation Tool（SPT）は Windows の設定を確認してマシンに適用します。手順の多くはツールによって自動化されています。これらの設定を適用することで、製品のインストール時や使用時の問題を回避できます。System Preparation レポートを確認し、レポートに記載された必須、および推奨される変更を手動で適用してください。
- 詳細については、『**OpenLab Server および OpenLab ECM XT ハードウェアおよびソフトウェア要件ガイド**』（**openlab-server-ecmxt-v2.8-requirements-en.pdf**）を参照してください。

Agilent Web サイト

- オンライントレーニング、クラスルームトレーニング、およびオンサイトトレーニングについては、**トレーニングとイベント**（https://www.agilent.com/chem/training）にアクセスしてご確認ください。トレーニングの担当者が直接お客様と一緒に、最適なトレーニングを決定するお手伝いをすることも可能です。
- **Agilent Resource Center** ウェブページは、https://www.agilent.com/en-us/agilentresources からアクセスしてください。以下のトピックが利用できます。
  - Sample Prep and Containment（サンプル前処理およびサンプル容器）
  - Chemical Standards（標準物質/標準試料）
  - Analysis（分析）
  - Service and Support（サービスとサポート）
  - Application Workflows（アプリケーションワークフロー）
- **Agilent Community** は、質問の回答を得たり、アプリケーションやアジレント製品について他のユーザーと連携したり、アジレントの技術関連の詳細なドキュメントやビデオを検索したりできる便利なサイトです。https://community.agilent.com/welcome からアクセスしてください。
- 機器の設置に必要となる準備のビデオも利用できます。**Agilent YouTube** チャンネル（https://www.youtube.com/user/agilent）を検索してご覧ください。
- **カストマコンタクトセンターへのお問い合わせ：**保守プランとオンデマンド | Agilent ウェブサイトまたは https://explore.agilent.com/ContactUs-jp をご覧ください。

リビジョン：A.02 発行日：2026年5月
文書番号：D0038465ja

© Agilent Technologies, Inc. 2026

- **Agilent Software Service Desk** には、https://servicedesk.li.agilent.com/support からアクセスしてください。有効なソフトウェアメンテナンス契約（SMA）をお持ちのユーザーは、ここからサポートリクエストを送信したり、リクエストのステータスを確認したりできます。
- **Agilent SubscribeNet** には、https://agilent.subscribenet.com からアクセスしてください。SubscribeNet は、オンラインのソフトウェアおよびライセンスデリバリーのサイトです。最新版ソフトウェアの入手や、購入済みライセンスの管理を容易に行うことが可能です。
- OpenLab CDS 3.0 およびその他のクライアントアプリケーションは、**Agilent Electronic Licensing** を使用しており、付与されたすべてのライセンスは **Agilent** オンラインアカウントの「Licenses & Agreements（ライセンスと契約）」ページから閲覧および管理できます。**Agilent オンラインアカウント**にアクセスするには、https://www.agilent.com にアクセスしてアカウントの資格情報を入力し、ログインしてください。次に、アカウントのドロップダウンメニューを展開して、「ダッシュボード」を選択します。ソフトウェアのインストールメディアと更新は、エンタイトルメントの Download/Activate software（ソフトウェアのダウンロード/アクティベート）リンクからダウンロードできます。
- Software Status Bulletin (SSB) および Software Release Bulletin (SRB) へのリンクは、インストールメディアの Setup¥Tools¥Support¥History¥Software Bulletins.pdf を参照してください。
- 最新のヘルプおよびリソースが含まれるフルバージョンのオンライン版 OpenLab Help & Learning システムが、https://openlab.help.agilent.com からご利用いただけます。オンライン版には日本語のユーザーマニュアルも掲載されています。

リビジョン：A.02 発行日：2026年5月
文書番号：D0038465ja

© Agilent Technologies, Inc. 2026

設置準備

ソフトウェア仕様クライアント / サーバー

特記事項

- 以下の項目に関しては、『OpenLab Server and ECM XT Hardware and Software Requirements Guide』（**openlab-server-ecmxt-v2.8-requirements-en.pdf**）で詳細を確認してください。
  - ライセンス
  - 仮想マシン
  - 言語の互換性

ソフトウェア項目	サーバー	クライアント
オペレーティングシステム、バージョン	Windows 2019 Server (Standard/Datacenter) Windows 2022 Server (Standard/Datacenter) Windows 2025 Server (Standard/Datacenter)	Windows 10 (Professional/Enterprise) 64 ビット 21H2 以降 Windows 11 (Professional/Enterprise) 64 ビット 21H2 以降 Windows 2019 Server (Standard/Datacenter) Windows 2022 Server (Standard/Datacenter) Windows 2025 Server (Standard/Datacenter)
データベース	MS SQL Server 2019（64 ビット） MS SQL Server 2022（64 ビット） MS SQL Server 2025（64 ビット） PostgreSQL Server 15.x（64 ビット）	N/A
インターネットブラウザ	Microsoft Chromium Edge Google Chrome	Microsoft Chromium Edge Google Chrome
.NET	.NET Framework 4.7.2 以降	.NET Framework 3.5 .NET Framework 4.8 以降
	.NET Core 6.x/8.x	.NET Core 6.x/8.x

© Agilent Technologies, Inc. 2026

コンピューターのハードウェア仕様 - クライアント / サーバー

特記事項

- アプリケーションサーバー（ローカルデータベースおよびローカルファイルストレージ、Basic Server またはオールインワンサーバー）の推奨ハードウェアです。
- ホストマシンは、OpenLab Server/ECM XT 専用のサーバーにすることをお勧めします。
- 推奨ディスク容量は、推奨の最大機器数で 4 年間運用する場合の推定です。実際に必要なディスクサイズは、利用計画に基づいて算出してください。
- 2 台サーバーソリューション、3 台サーバーソリューションまたはエンタープライズデプロイメント構成については、『**OpenLab Server and ECM XT Hardware and Software Requirements Guide**』（**openlab-server-ecmxt-v2.8-requirements_en.pdf**）を参照してください。
- クラウドデプロイメントの場合は以下の表を参照して EC2 インタンスまたは Azure VM を選択してください。

ハードウェア項目	小規模システム（Basic Server）	中規模システム	大規模システム
プロセッサのタイプと速度	1 x CPU – 2.0 GHz 以上 最小 8 vCPU	2 x CPU – 2.0 GHz 以上 最小 16 vCPU	2 x CPU – 2.0 GHz 以上 最小 16 vCPU
最小メモリ	16 GB	24 GB	48 GB
ディスク（OS およびソフトウェア）	150 GB SSD（RAID 1）	300 GB SSD（RAID 1）	600 GB SSD（RAID 1）
ディスク（データ）	500 GB SSD（RAID 1）	1 TB SSD （3 x 500GB RAID 5）	2 TB SSD （3 x 1TB RAID 5）
ネットワーク	クライアント/AIC まで 1 Gbps	クライアント/AIC まで 1 Gbps	クライアント/AIC まで 1 Gbps
オペレーティングシステムおよびデータベース	Windows Server 2019、2022、または 2025	Windows Server 2019、2022、または 2025	Windows Server 2019、2022、または 2025
データベース	PostgreSQL または SQL Server	PostgreSQL または SQL Server	PostgreSQL または SQL Server

リビジョン：A.02 発行日：2026年5月
文書番号：D0038465ja
© Agilent Technologies, Inc. 2026

ネットワーク仕様

特記事項

- OpenLab ECM XT では、標準 TCP/IP プロトコルを使用して、サーバーとクライアントコンピューター間で通信を行います。最適なパフォーマンスを得るために、ネットワークは、利用可能な帯域幅、IP アドレスの割り当て、名前解決、および社内ネットワークからラボのサブネットの適切な分離について、設計基準を満たしている必要があります。
- すべての製品で TCP/IP ネットワークが必要です。
- 広域ネットワーク (WAN) サポート：ネットワークのアセスメントについては、Agilent にお問い合わせください。
- 以下の項目に関しては、『**OpenLab Server and ECM XT Hardware and Software Requirements Guide**』（**openlab-server-ecmxt-v2.8-requirements_en.pdf**）で詳細を確認してください。
    - 通信方法
    - LAN 電源の管理
    - 規制対応システムの要件
    - ドメインのガイドライン
    - ファイアウォールの設定：外部のファイアウォールを使用する場合、お客様の IT 部門でポートを開いていただく必要があります。

ネットワーク項目	詳細
ネットワークのタイプ、帯域幅、速度、プロトコルなど	インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のみ **インターネットプロトコルバージョン 6 (TCP/IPv6) はサポートされていません。**
IP アドレス	固定 または DHCP 予約

© Agilent Technologies, Inc. 2026

ECM XT アドオン（該当する場合のみチェック）

アドオンは、少なくとも 1 つの OpenLab Client Services クライアントがインストールされている、ECM XT ライセンスで OpenLab Server を実行している環境にのみインストールできます。

ECM XT Import Scheduler

Import Scheduler サーバーで推奨される最小ハードウェア

☐ プロセッサ：2 GHz 以上

☐ RAM：最小 8 GB、推奨 16 GB

☐ インストール用のディスク空き容量：最小 500 MB

☐ ファイルキャッシュ用のディスク空き容量：最小 250 GB

ECM XT Import Services

Import Services クライアントで推奨される最小ハードウェア

☐ プロセッサ：2 GHz 以上

☐ RAM：8 GB

☐ ハードディスク：100 GB

リビジョン：A.02 発行日：2026年5月

文書番号：D0038465ja

© Agilent Technologies, Inc. 2026

サービスエンジニアの確認（オプション）

サービスエンジニアがお客様と一緒に設置準備の要件を確認した場合は、サービスエンジニアが以下のコメント欄に記入します。

サービスエンジニアのコメント

設置準備についての特記事項や、お客様へのお知らせを記入します。

設置準備の完了/署名

サービスリクエスト番号：	実施日：
サービスエンジニア氏名：	お客様氏名：
サービスエンジニア署名：	本文書のページ数：

リビジョン：A.02 発行日：2026年5月
文書番号：D0038465ja
© Agilent Technologies, Inc. 2026